広報 松之山

題字は佐藤町長
第20号

発行所
松之山町役場
電話(松之山) 110・111番
中央印刷所

# 新町長、新議員選出ところ

## 地元りなど歴史的試練と対決する議場は厳粛

### 議長に村山氏、副議長に小野塚氏

刈り入れを目前に控えての選挙戦は三十日早くも町長は無競争当選と決つたが、二十六の議席を争う議員選挙は投票の前哨戦ともいうべく活潑にたたかわれ、九月四日には別掲の方々にそれぞれ当選証書が送られた。

こんどの改選による党派別議席（届出による）は無所属二十二、共産党二、社会党二、自民党一となつており年令別には三十才台五、四十才台七、五十才台十二、六十才台二となつており三十才台議員の進出が目立つている。

地元りは、構造改善政策による、酪農農業の立ちおくれ、教育予算のばり張など沢山の歴史的な試練を山積して町議会の前途は決して平坦ではない。

真に住民の生活を守り地方自治を確立する政治の術は何か、一万の町民は信じ又厳しい眼かに考え行ち見守つているのである。

（写真は当日の議場）

議長
村山政光氏

改選後初の町議会は九月九日午前九時から町役場で開催された。

佐藤町長より新任の後援があつたのち新議員二十六名中の最年長者高沢奥治郎氏が仮議長となつて日程にはいつた。

まず議長の選挙が行われ村山政光　二四票
高沢奥治郎　一票
白　票　一票

で村山政光氏が議長に当選副議長選挙では
小野塚吉三郎　二三票
江口正徳　二票
白　票　一票

で小野塚吉三郎氏が副議長に当選した。

引き続いて常任委員の選任が行われつぎのように顔ぶれが決定した。

副議長
小野塚吉三郎氏

総務文教委員長本山林一
副委員長佐藤太治
委　員樋口藤次
〃　早川敬吉
〃　高沢正二
〃　布施源一郎
土木委員長　久保田政治
副委員長　高沢佐平
〃　佐藤幸栄
委　員　田辺一夫
〃　村山　清
〃　志賀貞一
社会厚生委員長村山一二
副委員長高沢奥治郎
委　員　山岸定依久
〃　樋口藤次
〃　小野塚光男
〃　佐藤孝平
同日の議会では村山一二氏ほか三名の提案によりつぎの「松之山町非常事態に対処する決議」がなされた。

「新町議会発足に当り非常事態に関する決議。」

わが松之山町は天与有の大地辺りに遭遇し立町の基礎が重大な危機に直面して居る。

この地辺りを防止し、農地等の災害復旧を計り被災者対策に万全の手段を講じ民生の安定を期する事は緊急を要する重要課題である。

この大災害克服のため当面議会が、一致して努力する事を誓うと共に、更に農業の近代化と教育の振興交通網の整備拡充積極的な新光行政の推進等は、町発展の基礎的条件であつて綜合的計画を樹立し、其の実現を期さなければならない事を期す。

新議会発足に当り我等は自からの姿勢を正し非常事態に対処する責任を自覚、挙町一致この困難を克服し

右決議す

昭和三十八年九月九日
松之山町議会

教育委員に相沢つとむ氏を

前当日の議会では今まで欠員となつていた教育委員に相沢つとむ氏（四十一才小谷）を選任した。

×

つぎに新町議をご紹介します。政見は各位よりご寄稿いただいたものでありますが、当選前にお寄せいただいたもの、及び当選後にお寄せいただいたものがあるので、当選前の政見と、当選後の政見とを区別して掲載しました。

## 新町議の顔ぶれ（抜粋）

無所属　久保田政治（土木委員長）　50

選挙も終り、自治体太平の夢にたち返り、私はこう思い、かく努めたい。

一、正しく明るい着実な町造り。
一、地元り災害の復興は慎重な考察と積極的な努力。
一、産業構造改善の動向に備えは長期的な展望を以て寄与したい。
一、教育医療交通通信等社会的施設の立遅れをとり戻したい。

無所属　本山林一　56

（総務文教委員長）

1. 交通問題の整備
冬期交通の確保
2. 町政振興へ地域差をなくしたい。
3. 松之山の実情に立つた農政振興。

4. 松之山地辺地帯を含む町内地辺対策の積極的推進
5. 小、中、高校の施設整備
6. 観光地松之山の観光開発と、これへタイミングを併せた農家の副業収入増

無所属　村山一二　55

（社会厚生委員長）

社会党　江口正徳　57

（産業委員長）

無所属　滝沢正二　60

豪雪酪農地帯の振興と開発

一、第一次産業（農林業）と他産業との所得の格差が益々拡大するのに対処し町内外交通網の拡充農耕地の集団化林業奇産を一段と指導奨励して所得の増加を計る。
一、地元り地帯の防災の完備を速進し被災者の救援に努力する。
一、教育施設の充実。

共産党　佐藤大治　41

一、地方自治の原点を守り町民の生活と福祉向上の為に努力する。

一、地元り災害防止の促進と復旧後の集地の近代的経営。
一、観光産業の為の交通網の整備。
一、学校教育の民主化と統合に依る教育設備の充実。
一、町民の健康保持と向上の為に医療施設の充実。

無所属　村山　清　35

薄学、微力ではありますが純白な若き情熱と強い信

御支持によりまして無投票当選をさせていたゞきましたことはまことに光栄かつ感激の余りで御座います。

然に過去八年間の町政にお寄せいたゞきました、御理解ある御協力御支援並に

今回の町長改選にあたり町議会並に町内有志多数の御推挽に応い重ねての立候補いたしましたる処幸に有権者のみなさんの御理解と御支持によりまして無投票当選をさせていたゞきました。

今回の選挙に重ねておよせ頂きました皆々様の絶大なる御支持、温い御同情に対し衷心より厚く御礼申上げます。

今やいちじるしい経済の成長により都市、農村間の地域格差がますます増大しつゝあり、ために町村自治体は正に新たな危機に直面していると云つて過言ではない信じているものであります。

## 決意新に

### 町長佐藤重幸

これに加えて松之山町は昨秋来地辺りの大災害をこうむり全く全身創痍の状態と云はなければなりません。早くこの痛手を癒し難関を切抜けてゆかなければならないのであります。

於ては昨秋来地辺りの大災害をこうむり全く全身創痍の状態と云はなければなりません。早くこの痛手を癒し難関を切抜けてゆかなければならないのであります。

秋かと存ずる次第であります。

弘も微力ながらこの重びの選挙を通じての感銘をもとに新たな決意をもつて当松之山町のこの深刻な事態に対処することを以つて基本命題とし地辺対策を含む総合対策の確立へと皆さんのご期待にそむかぬよう身をささげての努力をお誓い申し上げる次第であります

どうか今後とも特段の御指導、御叱正、御鞭撻をたまわりたく心から御願い申上げます。

以上謹めて簡単ながら御礼に併せ御願い申上げまして私の挨拶といたします。

無火災の年に
となり近所の相ことば

なんといつても
こ婦人の力

今年度になつてまだ一件の火災を出しておりません。日頃皆様が、火の用心に家族ぐるみで努力されているたまものと存じます。

ことしこそ一年の大災も出きないぞ……

松之山町消防団

念をもつて議会に臨み町政に精進する所存であります。町内の皆様方の絶大なる御支援と御鞭撻を切にお願い申し上げます。

尚此の度の選挙において皆様方の御支援と御理解によりまして当選させて頂きました事を衷心より御礼申し上げます。

無所属　福原実造　48

当町の現状から特に左の点に留意し、常に皆様の身近な相談相手となつて責務を果したいと思います。

一、地元防止工事の促進と民生の安定。

二、生産成に処する基本方針の確立。

三、農業の近代化と積極的な観光行政。

四、長期的展望に立つた道路計画の樹立及整備促進

無所属　高沢真治郎　63

「一言」

公約等と殊々しく掲げて見ても経常費を除いて精々五、六百万円しか余裕なく後は町債に使たれば新規事業不可能に近い町の財政の実態の中に於いて強いて申せば

一、教育の向上施設の完備

一、産業の増大所得税等の増収

一、道路網の整備と新設

一、厚生福祉関係の改善

一、地元災害の早期復旧

自民党　福口豊栄　53

過去四年間の体験を生かし愛する郷土、松之山発展のため町民の民生安定、道路農地並に被災者の家屋対策、観光と教育、其の他幾多の問題を解決に努力致し安心して行ける町作りに力をつくしたいと考えています。昨年以来の大地辺り災害は、誠々御地住民全体にとつて極めて重大な問題といわねばなりません。どうぞ御指導と御べん達の御御願いします。

無所属　田辺一夫　45

御支援を戴きまして誠に厚く御礼を申上ます。私は常に地域の皆様方の声を心に刻みながら町勢の発展と町民の方々の福祉を考えたいと思います。

一、生きて行ける松之山の農業を。

二、主要道路学道路の整備充実。

三、町全体の地すべり対策を進める。

四、辺地における通信網の確立。

五、教育施設々備の充実と学力の向上を図る。

無所属　佐藤五良治　56

私の公約

1.町民の要望する行政を行う為に議場の審議に万全を期する。

2.健全財政に依る重点的積極政策を支持する。

3.町と農業団体一体となつて松之山農業の改善に依る長期安定計画の樹立とこれの実施に努力する。

無所属　小野塚光男　36

すべての町民の皆様と親身に話し合いの出来る議員として松之山町振興発展の為幸さと勇気をもつて努力致し、議会に誠意を尽りとむ事を約束致します。

無所属　高橋初巳　58

再度の当選に当り皆様方の御恵情と御支援に感激し心から御礼申上げます。決意責任の重大を痛感し次の諸問題について特段の配慮が必要と考えております。

一、地元の問題

防止工事促進に意を用い被災地、特殊方の民生の安定に努力します。

一、道路問題

町道の改良整備によつて産業の基盤でもある交通の円滑を計る様努力します。

一、産業問題

農業の近代化と合理共に観光松之山にしたい。

一、教育施設の完備

一、青少年健全育成

一、住みよい郷土の施策

一、産業、観光の奨励

無所属　山崎定佐久　47

一、農村経済対策

二、地元に対する恒久的対策機地経済機構改善対策を早急に決定しなくては地元防止後も尚経済の疲弊が考えられる是非地元対策と相まつて対策を講じたい。

宇宙時代と言われる今、地元応急防止の完全と恒久的計画によつて松之山町と地元を追放したい念願です。

社会党　福口勝夫　35

一、松之山地辺り復興対策と被災者の救済に全力をかたけてその先頭に立つて斗う。

一、地元防止工事建設を要望する。

2.耕地復興整備の迅速を要望する。

3.被災住宅補償を県、国に要請する。

4.松之山中学校は通学区域の実情鑑に建築を決定した遠距離地区の弱体児童の冬期寒冷時も学校を休ませぬ為の男女別宿泊所給食復員等の完備整備を強く要請する。

5.明るい町政と仲みよい町政

一、町政の信義を立証する

2.町政の信義を立証する

3.松之山復興政策に努力する

無所属　布施源一郎　49

一、二期生議員として立場を自覚し最等の努力をしたい。

二、町の当面の問題はなんと云つても地元対策が第一で災害復旧の促進を計り民生の安定を計る。

三、文教施設の合理化に依る町財政の円滑を計り農業土木事業の充実が大切だと考える。

四、正しい政治の運営に努力し町民各位にも充分に認識していただき無駄の政争をさけ、明るい町づくりが今日の松之山町に最も大切な事だと思う。

無所属　高沢佐平　57

公　約

1.地元防止工事建設を要望する。

2.耕地復興整備の迅速を要望する。

3.被災住宅補償を県、国に要請する。

4.松之山中学校は通学区域の実情鑑に建築を決定した遠距離地区の弱体児童の冬期寒冷時も学校を休ませぬ為の男女別宿泊所給食復員等の完備整備を強く要請する。

5.明るい町政と仲みよい町政

無所属　佐藤幸栄　49

地元災害に前時に交通の便に力を入れたいと思います。

無所属　志賀武一　58

今回計らずも部落一同の推薦により町議に立候補しましたが、私の心境は今春県議選に出た時と同じく地位とか名前とかが問題ではなく、地域振興に全力を傾注したいという一念だけであります。今後は町民の皆さんと良く話合い、皆さんと力を合せて微力乍ら大局的見地より最善を尽したく存じます。

共産党　山崎石松　39

今後町民の利益の支持を基礎として町議会の内からも外からも斗つて行く事をお誓いします。

民主々義と権利を守るための一切の運動を支持し発展させる。

一、農民を六割も日雇にしてしまう様な、つまり貧乏人をもつと大量につくりだす政治に反対します。

一、いろいろな事業の地元負担、ことに地辺り災害復旧事業費に被災者負担をかけないように斗います。

一、役場の窓口事務がもつと町民のサービスに充分なものとなる様に斗います。

以上の事からをまとめますと一口に言つて二切の貧乏をなくする斗いだと云えます。皆様の心からの御協力をお願申し上げます。

次点

無所属　布施作成　51

町民の皆様毎日汗と涙で戻られる事と思います。

私の公約は「特別職守」「地辺り災害復旧工事促進」「各部落町道改修工事促進」等を重点に実現したいと考えております。

## 大厳寺牧場十五ヘクタールに

芦地改良事業の第三年目にはいつた天水越大厳寺原牧場は、昨秋までに播種された十二ヘクタールには牧草が青々として育え、七月から放牧された和牛十頭が三々五々我がもの顔に草をむしり歩いている。

今年度分三ヘクタールは九月七日ブルトーザーによる整地を終え九月の末までに播種を終る予定で併せると、合計十五ヘクタールが牧草地となる。

（写真は大厳寺牧場で）

## 町内に運転練習場を

### 運転者協会が中心で

このほど町運転者協会（会長村山左平）が中心となつて松之山町に運転練習場を作ろうという話が具体化している。

候補地に松之山中学本校の取り壊しあとを選び、既に八月三十日同会の役員並びに安全対策協議会の役員三十数名が奉仕作業で危険箇所の清掃作業を実施した。

町当局や町内各関係もこのことに賛成しているが学校当局は生徒の安全や、騒音による授業への影響を考えていますが、あと地を練習場にすることには反対なつて松之山町に運転練習化している。

なお関係者はこの練習場が直ちに運転免許試験地になるかどうかは未定であるが、当事者間では安全警察署と話し合い、来年度中には試験地としても是非実現するよう運動をすすめる方針であるといつている。

## 解説

### 印紙税（1）

印紙税のことは商業者の方は既におなじみのものですが、農家等の皆様方はあまり関心を持たれない税です。

しかしだんだんと経済が発展してきますと、必ずしも関係がないとは言い切れません。

そこで、これから一般に知られている受取書や、借金の証文のことはあと廻しにして、身近かにありながら案外知られていないものについて解説します。

▽月賦販売契約書…

最近はミシン、テレビ、電気洗たく機、軽うん機等少し金額の張るものは、月賦で購入する場合が多いようです。このようなとき、販売業者は大体一定の契約書を持つてきて、購入者の氏名捺印を求めます。

この場合の書類の内容は種々ですが、これは大体売買契約書にあたるものであります。

売買契約書は、その証書に書いてある金額が三千円以上の場合、十円の収入印紙をはらなければなりません。

それから契約の内容によつては、月賦の金が完済するまでは、ほんとうに自分のものとはならず、品物を一時借りておくのだ、というようなのがありますがこの場合は、売買契約の外にもう一つ賃貸借契約又は使用賃借契約があることになりますから、さらに十円の収入印紙がいることになり、一通に二十円収入印紙をはらなければなりません。

（つづく）

## 警察官募集

—新潟県—

受付期間—九月二日～一十五日

学歴は高卒程度、詳細は各駐在所へご照会願います。

# 地辷り防止工事

## 杭打六七三本集水三カ所

### 地元民は「よろこびと不安の交錯した気持で」

地辷り被災地一周待望の第二期防止工事は七月二十六日に集水井工、八月二十二日杭打工の入札が県庁で行われた。

集水井工事は町内の高橋組、大海組の二業者が既に八月二十日より着工しており、地下水集水井戸を松之山地内三カ所に設置する工事でその工費は一千七百万円である。

又杭打工は松之山部落の中心周辺にのべ六百七十三本の杭打ちを行うもので六業者一億四百六十六万円の工事費となっており、各社とも今月のはじめより事務所や飯場の設営がはじめられている。

この杭打工は自下県砂防課藤元技師の指導で行われているボーリング調査のデーターにより設計変更も状況によって行われることになっている。入札のあらましはつぎのとおりである。

二期工事がはじまったことについて小日和男(建築業)氏はつぎのように話っている。

「明日のことを考える余裕がなくなってくる。一二事のはじまったことは実に有り難いことですが長い期間地辷りと取っ組んで地辷りが止めてくれればという期待を胸の底でもっているが、反面とまらないかも知れないという絶望感もある、期待と不安と焦燥と交錯した気持です。」

（写真は集水井工事）

杭打工入札のあらまし（8月22日新潟県土木部）

| 請負業者 | 工事の内容 | 請負金額 |
|---|---|---|
| | 鋼管パイル直径 m/本 | 千円 |
| 興和地下建設KK | 17.5～7<br>16.0～66<br>12.0～29 | 11,800 |
| 浦田建設工業KK | 〃 16.0～56<br>12.0～46 | 15,327 |
| 大洲建設KK | 〃 17.5～15<br>16.0～25<br>12.0～13 | 9,850 |
| 日本特殊土木KK | 7.5～5<br>16.0～20 | 14,140 |
| 利根工業KK | 16.0～126 | 25,000 |
| KK本間組 | コンクリートパイル直径<br>14.0～157<br>9.0～67 | 28,550 |
| 合計 | 673 | 104,567 |

集水井工入札のあらまし（7月26日新潟県土木部）

| 請負業者 | 工事内容 | 請負金額 |
|---|---|---|
| | | 千円 |
| 高橋組 | 2カ所 | 11,200 |
| 大海組 | 1カ所 | 5,880 |
| 合計 | 3カ所 | 17,080 |

## 町道復旧工事入札

町道の災害復旧工事の競争入札は九月七日町役場で行われた。内容はつぎのとおりである。

一、町道長坂水沢線道路復旧工事二百三十三万円
請負者松之山町高橋組
工期九十日間

二、町道松之山仙田線道路復旧工事九十三万円
請負者松之山町大海組
工期六十五日間

## 原水協から

### 核戦艦の日本寄港を許せない

#### ―世界大会報告―

ことしの平にされました。広島和行進は町内でいる爆撃機が日本に来ての部落から西います。原爆を発射する潜水艦が日本の港に配置されようとしています。これらは原水爆禁止の危険をもっていますので、日本から帰えってもらう運動をしたければならないことがきまりました。

なお資料からよせられたカンパ（寄附金）は合計二万七百五十四円でありましたが、これは松之山町原水協が出来て以来、最高の額であります。日本一の大災害の中にあればこそ、平和の人々、生活が出又ない多この人々　この人達を最うための運動を賛刷に れさなければならないことがきめられました。

一部には、これらのさしせまった問題にとりくむことを真剣に納得されない人々がありましたのは大変残念でした。しかし、そういう人達にもこれから一緒にやってもらうよう呼びかけることもきまりました。

### 武器よりも民生の安定を

なお世界をのぞみ、武器よりも民生の安定を、社会保障の充実を、生活の向上を強く叫ばれる仏様方の御気持の尊い結晶であると考えております。（写真は題で）

### 水爆機、核戦艦は帰ってもらう

一原水爆禁止の危険はどこにあるのか！ということが事実によって次々に明らかにされました。広島大爆発の危険はどこにあるのか！ということが事実によって次々に明らかにされました。

全国から一万数千名の代表者が集まって、非常に盛大に大会がおこなわれました。各国から七二一名の代表も参加しましたが万場一致で原水爆禁止運動の目標がきまりました。

### 死んだ被爆者今年も二十人

また、十八年前の原爆のために今もなお死んで行くの人が今年も二十名近くありました。原爆のために苦しんでいる人々――入院している人々、かたわになった人々、仕事が出来ない病弱

八月五日～八日まで広島で開かれた原水爆禁止世界大会には松之山からは事務局の田辺岡二さん(社教主事)が代表として参加されました。

このほか田辺さんからつぎのような報告がありました。

## 十二名の主婦に映写機の免許証

一教育映画や健全な娯楽映画が部落毎に、どの部落でもみられるようになればいいという強い要望により昨年度一台、今年度一台とそれぞれ十六ミリの映写機が町の公民館に入った。

しかし映写機を動かすには、免許証が必要なので、公民館は七月十四日、十五日の両日、松之山公会堂で講習会をやった。

婦人が十二名、青年が三名、先生が二名受講したが、こんなに沢山の婦人が最初から最後まで受講するのは県下でも珍らしいので、講師もすっかり感心し、「私よりずっと上手に操作する主婦がいたが、大したものだ」と言っていた。

「講習会なんか受けるのはいやだ」と遠慮していた主婦達からは仲々希望者になかったが、受講した人達はみんな「出てよかった。いい勉強だった。貰ったフィルムを掛け、スイッチを次々に入れて、映写幕にパッと写ったときには一おれでも出来るんだ」という嬉しさでなかがカッとあつくなったという。

この後、全員が見事に免許証をとった。

## 被災者相談欄

### タバコは普通作

#### 等級格付に関心

タバコ調理講習会（集の

### 浦田地区秋季体育祭盛会

恒例の浦田地区秋季体育祭は九月一日浦田小学校庭で開催された。

天高く肥ゆるの秋その通りに高晴れの校庭には浦田地区中、小学校生徒をはじめ婦人会、青年団、消防団など一般の人達を含めて約七百人が参加して盛会であった。

紅白対抗で、わざと競ったが、紅組に凱歌があがった。

### ◎自作農維持資金について

三反歩以上を耕作している農家の住宅修理、移転、改築、災害による減収補てん債などがその対象となります。申込は隠時農業委員会で受付けていますが、貸付額については農協と協議し、収入返済計画等によって決まります。内容はつぎのとおりです。

貸付最高額二十万円、利率は年五分、二年据置きで十年償還、保証人は二人。

第一次申込分については今月二十日頃査定にかかりますが、希望者はいつでも随時に申込むようお待ちしています。

### バイクの運転免許試験

9月1日の試験によりつぎのように実施することになりました。

◎東部地区は松代で毎月11日
（休日のときは翌日）

◎西部地区安塚では毎月25日
（休日のときは翌日）

受験希望者は試験日の3日前までに松代派出所へ申込んで下さい。

申込書に受験希望地を忘れずにかいて下さい。

松之山巡査部長駐在所

# 長い地辷りとの斗いの歴史

## 部落探訪

### 片隅の不運として農民は消えてゆくのか
### 女衆は日ゼニが取りたい

◇水梨◇

棚田に写る田ごとの月は奇しくも美しいものである。

刈草を終えてヒナ民のように重畳する棚田の光景は圧巻である。

水梨部落は世帯八十七、人口四百五十人松之山町では七番目の大部落である。

水田耕作面積は四二・八ヘクタール耕地一戸平均はやや少ない。ところがこの水田の六十%が古くからの地辷り地帯である。

**大正十二年に地辷り消えゆく農民**

昭和十六年に伊藤博士（地質学者）が調査のため訪れた際、この土地は牧草を生かして乳牛の導入以外に方法はないと聞かされた。

今でこそ酪農は常識となっているが、当時この話を聞いた人達は田のアゼでぼう然としたものですという。

それだけにここでは地辷りとの斗いの歴史が長く、ほんの片隅の不運と諦観され黙々と耐えてきたのである。

大正十二年に地辷りで十七戸が被災し、うち五人は職人になったし、一人は牛を引いて土引になったという。

自然の病法としては余りにも厳い犠牲といわねばならず、こういう現象の中で消えゆく農民の姿とその社会的地位は悔ともいうべきである。

**六百俵の減収か**

今年の地辷りで米の売り渡しは従来の千六百俵が千俵に減るのではないかと農家組合長相沢さんは心配している。

**人に売った田も可愛いい**

**出来ない集団移住**

殆ど苦労して培かった田んぼは人に売ってもなお可愛いいというのが今だに農民の素朴な感情である。

この地を去って一体どこへ行けるというのだろうか。だから集団移住もそう簡単にはできないだろうとこの人達は同音にいう。

**「大正十二年私の子供の頃太田や農道に断層ができたことを覚えている」**

と和久井さん

それから連続の繰り返しで漸く昭和五年に砂防エンテイが着工された。これが水梨における地辷り工事の初めとなったものである。

**日ゼニの取れる工事がほしい**

以前は県の直営工事で女や子供もゼニ取りが出来た。しかしいまの工事はすべて請負で女や子供は使ってくれない、地元でもいままでのようにしつくりした協力をやらないようになったのではないか」

なぜ請負制度になったかはよくわからないが、玉に角農村でも県の直営工事か何かでなんとか日銭のとれる方法がほしいと訴えている。

すつぱりと労働者になることもできず、さりとて農業だけでも喰つてゆけないといういわゆる潜在失業者は現在町に約子人は常住すると見られている。例え半日づつでも賃取りが出来ないか、という農民の本音な要求とも共通するものであろう。

**人間関係の断絶**

**「大正十二年私の子供の頃太田や農道に断層ができたことを覚えている」**

と和久井さん

それから連続の繰り返しで漸く昭和五年に砂防エンテイが着工された。これが水梨における地辷り工事の初めとなったものである。

**日ゼニの取れる工事がほしい**

以前は県の直営工事で女や子供もゼニ取りが出来た。しかしいまの工事はすべて請負で女や子供は使ってくれない、地元でもいままでのようにしつくりした協力をやらないようになったのではないか」

なぜ請負制度になったかはよくわからないが、玉に角農村でも県の直営工事か何かでなんとか日銭のとれる方法がほしいと訴えている。

すつぱりと労働者になることもできず、さりとて農業だけでも喰つてゆけないといういわゆる潜在失業者は現在町に約子人は常住すると見られている。例え半日づつでも賃取りが出来ないか、という農民の本音な要求とも共通するものであろう。

**人に売った田も可愛いい**

**出来ない集団移住**

殆ど苦労して培かった田んぼは人に売ってもなお可愛いいというのが今だに農民の素朴な感情である。

この地を去って一体どこへ行けるというのだろうか。だから集団移住もそう簡単にはできないだろうとこの人達は同音にいう。

しかし又一見矛盾したような農民感情をどう理解すればよいのだろうか。

**町中央の地辷りはショック、青年も悩む**

「町中央の地辷りはたしかにショックだった」

と元区長の中島さんはいう

「まず町当局がガッチリとした線を張げてほしい、精神的な安定がほしい」

と、又青年会としても

「これからどういう生き方をすればよいのか会議でもそういう話が一番多くでてくる」

と会長の中島君は訴える。

「個人個人ではどうにもならない、腰のすわつた行政、その柱をガッチリ立ててほしい」

と中島君は続ける。

**地辷りと地名**

この部落で地辷りに関係あると思われる小字名はたくさんある。

落合（欠け、落ちなどの意か、山が落ち合つた）

馬場平（地辷りによつてできた部分の平）

フケ（抜けと同じく地辷りを表す）

古水梨、屋敷田（ともに移住の跡を示す）

吉尾（蓋の尾、蓋つ原）

などがそれである。

**科学や政治の盲点なくせ**

昭和三十八年度水梨地区地辷り防止工事総額は県営で二九二万円と決定されたが、

「これには協会負担などの地元負担があるので、この拠出に悩まされるのです」

と部落長の相沢さんはおっしゃる。

すでにヶ地辷り防止法による指定地域の指定も終つている。だがそれだけが地辷りの対策であつてよいはずはない。科学や政治の盲点は一日も早くとりのぞかねばならない。（建設省地質調査所）

全国的にみて地辷りに悩む人達はほんの一部分にすぎないのかも知れない。だが、ちょっとこの地に営々として生きる人達を見捨てることは断固として許されないのである。

「誰かが責任を負つてガッチリと対処する態度が何よりも必要だ」

と和久井さんは強調する。

誰かがとは何か、ましく地辷り地に生きんとする人々をおいて他にあろう筈はない。

お断わり――小字名の説明は建設省の地質調査所編「地すべり地に生きる」を参考にして筆者が付説したものである。（敏記）

（写真は馬場平より望む水梨部落全景）

## 婦人の話題

### やって見たら評伴のいい共同炊事

―天水越―

ゆでたジャガイモをつぶす音がとんとん勢がいい。

となりのテーブルの上にはザルに一杯、かわをむいたユデ卵が盛られている。

「スコッチ・エッグというんですが、みなさんにわかりいいように、コロッケという名をつけました。」

普及員の渡辺さんが元気よく説明してくれる。世話だしねえ……」というので、五月十八日の農協婦人部の役員会でにぎやかな共同炊事の相談は二十三日の会でもお流れ。「それでは希望者だけ集まつて見ましょう」と二十七日の夜には十七名が出席した。

「六月一日から実施ということになり、準備の不足が心配だったんですが、はじめたら、皆さんとても喜こんで下すつて……」と渡辺さんは大張り切り。

「当番制でなく、専任でやって下さる方がいて、とてもよかった一のだそうだ」

「おらなんてなんでもせねがだでもそれ」と「おねね」のおばあちゃん（佐藤タケさん64才）と、さかやのおつかさん（佐藤ツギさん49才）は急がしく炊事場をかけまわりながら一毎日参加者が増えますよ」なる程今では四十戸ほどが参加している。「人員で百四十九名ですよ今日は」と話しているところへ、入つて来た主婦が、紙袋からユデ卵を十ケ程とりだして殻をむきはじめた。「水の中でむくといいですよ」と渡辺さんの声が飛ぶ。これもまた追加分だそうだ。天水島の人達もやつて見たいと希望が出ている。

一栄養の補給と疲労の回復と家事労働の軽減のためにとりあげたが、今回はまあ五、六人でやり皆なに見てもらうつもりでいた」のが、急激に参加者が増えく…よそと違つて、ここは参加者全員が農家」である

夕食のオカズつくりがこの共同炊事で、一人一食分は人件費を入れて平均二十一円だが、ここも人件費がナヤミのたね。「皆さんが喜んでおられるだけに、農協組合長さんに、見ていただいて、つづけてやれようにおねがいしました」と渡辺さんは語つたが、炊事婦さん達も、「田植を早くおやして、ここへ来ています」と、やりがいのある仕事に顔色も明るい。

農協もこの運動に手を貸し、人件費の一部補助や加工場と多くの器具は無料で貸している。

秋は九月中旬から十月上旬頃まで実施するが、近く各戸に希望をとる予定で、今のところはウナギ上りの盛況である。

### 固定資産評価替え

**九月いっぱいは宅地の調査**

昭和三十九年度から実施されるところの、固定資産評価替えは昭和三十七年から補助員とともに、現地調査を実施して居り既に、田畑、山林を終了して現在宅地の評価に着手しました。

宅地の評価については各部落、あるいは地域的、ブロックに分けて、自然、経済条件等、いわゆる地域差となる資料として、小中高の各学校、役場、農協、医療施設、商店、交通の便等、各要点の距離を測定し、その宅地の価値を求め評点を付設して行うもので、これ等の評価等え事務は、三十九年三月末までには終了し、三十九年度からは、新しい評価基準による固定資産税が賦課されることになっている。

### 水稲の損害評価百七十ヘクタール

**たたかれた「山ひびき」**

町農業共済組合では九月十日から水稲の損害評価をはじめているが、評価班は十三班にわかれて現地調査を行い二十日頃終る予定である。

ことしの損害評価概況について恩山農業共済組合長はつぎのように語っている。

評価対象は六千三百、百七十ヘクタールで全面積の約二〇%にあたる。

被害原因は百%イモチ病によるもので、被害の多かつた部落は松口、中立山、黒倉などの順になっておりまた品種別では、山ひびきが最高に被害をうけておる。

五百万石、一和日、新交二〇三、高嶺錦などが、これについている。

ことに山ひびきは全水稲作付面積の二〇%を占めているだけにその被害も全般に広くおよんでいる。

総合してことしの稔作は平年作をやや下まわるもの十（タ）ルで全面積の約

## 冬期出稼求人

―早めに職業係へ―

| 求人者 | 職種 | 男 | 女 |
|---|---|---|---|
| 東京都 | 牧製本会社 | 工員 | 三五 |
| 川崎市 | 川治屋食品デパート | 店員 | 五五 |
| 東京都 | 吉松デパート | 店員雑役 | 五 |
| 〃 | 岩井工業株式会社 | 工員 | 二〇 |
| 〃 | 品川熱料 | 〃 | 一〇 |
| 〃 | 神田運送 | 荷扱 | 二〇 |
| 〃 | 日教販 | 雑役 | 五五 |
| 〃 | 鴻の池運輸 | 工員 | 五 |
| 一の宮市 | 日本毛織 | 〃 | 五 |
| 四日市市 | 東洋紡塩浜工場 | 〃 | 一〇 |
| 濱兵市 | 山崎製パン | 〃 | 一〇 |
| 名古屋市 | 多志満料理、仕出 | 〃 | 三 |
| 〃 | 木村屋洋品店 | 吉員 | 二 |
| 東京都 | マル正青果店 | 〃 | 二 |
| 〃 | 丸康青果店 | 〃 | 二 |
| 〃 | みなみ旅館 | 女中 | 二 |
| 伊本温泉 | はたや洋品店 | 店員 | 三 |
| 春日井市 | 岩佐旅館 | 女中 | 一 |
| 名古屋市 | 斐有沢製作所 | 工員 | 五 |
| 〃 | 兼松羊毛工業 | 〃 | 一〇〇 |
| 埼玉県 | 関本炭礦 | 〃 | 五〇 |
| 〃 | 山口炭礦 | 〃 | 二五 |
| 茨城県 | 塙生炭礦 | 〃 | 二 |
| 〃 | 塙山炭礦 | 〃 | 二 |
| 東京都 | 矢島建設 | 土工 | 二〇 |
| 〃 | 友利建設 | 〃 | 二〇 |
| 静岡県 | 鈴木組 | 〃 | 三〇 |
| 〃 | 鹿島建設 | 〃 | 五〇 |
| 〃 | 前田建設 | 〃 | 五〇 |
| 三成建設 | 小沢土建 | 〃 | 二〇 |
| 小田原市 | 湯河原町西山組 | 〃 | 二〇 |
| 東京都 | 東京コロタイプ | 工員 | 一〇 |
| 川口市 | 石倉光芸社 | 〃 | 一〇 |
| 名古屋市 | 名古屋金属協同組合 | 〃 | 五〇 |